

何を使う

機器 スマートフォンまたはタブレットPC

ソフトウェア（アプリ）

カメラ



それをどう使う（それで何ができる）

- ・プロジェクタやモニターにインストールされている、カメラアプリにて教員機を投影する。
- ・教員機で教員の手元を映し、縫い方を生徒に示す。
- ・生徒は、師範映像による説明を受けながら、実技を行う。

ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

高校 家庭（実習・演習等実技科目）

【 Before 】

- 机間巡視を行い、一人一人に縫い方を指導する。



【 After 】 メリット

- 一斉に縫い方を示範することで、効率的な指導が可能となる。
- 画面を見ながら生徒も実際に手を動かすことができるため、理解しやすくなる。
- 理解できなかった生徒に対する個別指導の時間が増えることで、素早い手立てが可能となる。

機器 (台数)	スマホ	タブレット	PC	その他		学習 場面	一 斉	個 別	協 働
	○	○	○	大型提示装置			○		
	教員1台、								
授業実施時に必要な環境→				インターネット接続			1人1台端末		
活用が想定 される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等		家庭		
		○	○		活用が想定される場面		実技分野（示範実習）		